

## 「図書館の魅せ方」レジュメ

コミュニケーションデザイナー おおとりのようき  
押樋良樹

- ・自己紹介(職歴、図書館との関わり)
- ・排架と配架、魅せると見せる。
- ・あなたはどんな図書館が好きですか？どんな図書館が嫌いですか？
- ・2006夏 埼玉の高校司書さんとの集中合宿「学校図書館展示勉強会」レポートより要約  
学校図書館員が考える「公共図書館のこんなところが好き嫌い」別紙資料1
- ・図書館の魅力の構図(ライブラリーアイデンティティ)図1
- ・図書館の魅力を利用者の目で見ると、自館を視覚監査する。
- ・なぜ？知の専門家“司書”は、エプロン姿なのか...
- ・イメージは70~80%見られて確立。
- ・企業の統合デザインから学ぶ。
- ・新しいシンボルマークと統合デザインシステムで、図書館イメージを構築しませんか？
- ・デザインはグラフィックデザインだけではありません。
- ・そして、維持管理のため、図書館にデザインマネジメント体制(管理運営)を！
- ・図書館を魅力的にするのは、資料も肝心ですが、予算が厳しい今だからこそ...  
社会の変化(利用者のニーズ)にすばやく対応するマーケティング力と  
図書館員の専門力、デザイン力、鮮度管理力、コミュニケーション力の発揮の時です！  
図書館の魅力をコミュニケーションする重要性を再認識。

- ・パブリシティ
- ・図書館を広告する...
  
- ・広告経費の推移にみる媒体の変化 別紙資料 2
  
- ・コミュニケーション「場」の活用 学校・学校図書館との連携
  
- ・自ら(友の会との連携をも視野に入れ)が行動する...
  
- ・クリエイターを使いこなすのがディレクターである図書館員の仕事。
  
- ・広告クリエイティブのアイデア発想は世の中の良い(楽しい)広告に感動することから...
  
- ・企画展示が専門性発揮と図書館新鮮度持続の「鍵」図 2
  
- ・市民文化のため、日本の文化のために図書館がいかに重要な存在かを訴求しましょう。

図書館員の存在が図書館。

図書館の品格の核は図書館員。

図書館発展は図書館員の責務。

図書館員は誇りある素晴らしい仕事。

図書館員の能力の PR をしましょう。

それが図書館の魅せ方の大切な第一歩です。